

楽踊楽座 全国行脚 記録

行脚 No.15

日時	2013年6月2日
行脚先	長水城
住所	兵庫県宍粟市山崎町 (播磨国)
行事名	

特徴

長水城は文和年間(1352年-1356年)頃に赤松則佑によって築城され、則佑の兄である赤松範資の子・広瀬師頼が初代城主であると言われています。
嘉吉の乱(1441年)で山名持豊の軍に攻撃されて落城となりますが、応仁の乱(1467年)で復権した赤松政則により、文明元年(1469年)に修築され、宇野満利が新しい城主となりました。
天正8年(1580年)、宇野祐清の時、中国征伐で三木城を攻略した豊臣秀吉が長水城に対して降伏勧告を行ないます。城中も評議により敵対しない事を取り決めましたが、宇野政頼が返答の為に姫路城に出向いた際、秀吉はたまたま碁を囲んでいてすぐには会わなかったそうです。
長時間待たされて秀吉と会えなかった政頼は怒って帰城してしまいます。
これに対して秀吉も怒り、同年4月には兵を発して長水城に向かいます。
結果、秀吉軍の攻撃を受けた長水城は同年5月9日、城兵の奮戦むなしく内通者の放火によって炎上し、落城しました。以後は再建される事なく廃城となりますが、昭和9年(1934年)宇野氏の臣石丸氏の裔渡辺日妙尼により日蓮宗の霊場として長水山信徳寺が建立され現在に至っています。

黒田官兵衛との関わり

天正8年(1580年)10月、黒田官兵衛は信長から播磨国宍粟郡山崎に1万石を与えられます。
山崎の地を預かった黒田官兵衛は、秀吉の九州平定後、豊前中津に移封となるまで山崎の地を護りました。

記録

